



天人峡

Climbing Area

はじめに

天人峡がクライミングエリアとして登られ始めたのは 2021 年の夏のことである。羽衣の滝の登攀を試みた渡邊大三、成田啓、竹中源弥だったが、突破口を見出せず、敗退。しかし、その帰りに目についた岩塔、アマツ岩にクラックを発見し、渡邊が初登した。記念すべき天人峡初のルート「ハゴロモン」である。

時を同じくして、土別朝日の岩場の開拓を終え、新たな開拓の場を探していた筆者と永渕将哉は温泉より少し下流にある立琴岩に目を向けた。屏風のように広がる岩壁には幾つかの見事なクラックが走っており、「春琴抄」や「黒雷」といった代表的なルートが完成されることとなった。その後も立琴 1・2・3 峰や楽近エリア、ダム下エリアなど新しい岩場も次々と発見され、ルート数も現在進行形で増え続けている。

岩質は溶結凝灰岩で、発達した柱状節理に走るクラックをルートとしている。すべてのルートがオールナチュラルプロテクションであり、終了点も木や岩塔にスリングを巻いて作成している。終了点を利用する際には、スリングやカラビナの状態などを入念に確認するようお願いしたい。

またエリア全体においてルート上や終了点のボルト設置を極力行わない方針としており、現時点では自己判断でボルト設置を行わないよう協力いただきたい。

エリアによっては渡渉が必要な場合があるが、増水時や悪天が予想される場合は、決して無理をしないように。寒い時期には釣り用のウェーダーが重宝するので必要な方は是非。

最後に、北海道におけるクラック・トラッド文化は残念ながらそれほど広まっておらず、本州から何周も時代遅れの感は否めない。しかし、それでも細々と開拓し登り続けてきたクライマー達がいて、筆者もその背中を追いかけている。昨今では本州のクライマーが遠征で天人峡を来訪するなどエリアとしても注目度は上がっており、少しずつではあるが風向きは変わりつつある。この流れを絶やさぬよう、そして北海道のクライミング文化が少しでも前に進んでいけるよう、天人峡がその象徴的な岩場としてこれから更に発展することを願うばかりである。

森 海人



周辺案内

① キトウシ森林公園家族旅行村(キャンプ場)

1人1泊300円で利用可能。チェックイン13-18時なので早めに受付すると良い。連泊も可能。入浴施設も隣接。

② 東川町市街

スーパーはホクレンショップとスーパーフジの2軒。その他にコンビニもあり。コインランドリーも1160号線沿いにある。居酒屋りしりが人気。ご当地の日本酒三千櫻とキトウシワインもお試しあれ。道の駅隣のモンベルショップでは最低限のクライミングギアが入手可能。

③ 森のゆ 花神楽

日帰り入浴700円。広くて綺麗な天然温泉。露天風呂がおすすめ。

④ 大雪遊水公園

無料の駐車場と綺麗なトイレがある公園。車中泊している人もちらほら。夜は少し騒がしいことも。

⑤ 旭岳源水公園

天然の湧き水を汲みに多くの人が訪れる水汲みスポット。この水は美味しい気がする・・・？
近くの上忠別橋付近の河原はテント泊に良い。焚き火もできる。

⑥ 立琴・楽近エリア駐車場(次ページに拡大図あり)

⑦ 御やど しきしま荘

天人峡唯一の温泉宿。日帰り入浴は17時(受付16時)までだが、泉質は抜群。濁ったお湯に浸かるとクライミングの疲れも吹き飛ばす。実は近くの足湯の管理をしてくれているのはしきしま荘のご主人。足湯にいつもお世話になっている人も多いと思うので、早上がりした日にはしきしま荘にぜひ。



- ・ 楽近・立琴エリアの駐車場は 7-8 台駐車可能。釣り人や道路の作業員も利用するので必ず縦に詰めて駐車をお願いしたい。
- ・ 楽近・立琴エリアでは基本的に携帯の電波は圏外なので、緊急で連絡が必要な場合は天人峡温泉まで行くか、旭岳源水公園まで戻ると電波が復活する。
- ・ 突然の豪雨などで帰りの渡渉が困難な際には、下流に吊り橋があるので緊急時は利用可能。

渡渉ポイント



立琴エリア・1 峰へのアプローチ



2 峰・3 峰へのアプローチ

FIX ロープあり

ケルン

崖

2 峰・3 峰へは、更に上流に進むと崖が出てくるので、その手前で左の斜面を FIX ロープ沿いに登る。最初に突き当たる岩峰が 2 峰、更に右側に回り込み急斜面を少し登って、トラバースすると 3 峰が見えてくる。

アプローチボルダー

ウォーミングアップやクールダウンに最適。

①

②

③

④

⑤

- ① 左肩 6 級 真ん中のガバを両手でスタート。左上する。
- ② 右肩 5 級 右上バージョン、ワンムーブある。
- ③ はっけよい 3 級 両手プッシュでスタート。バランスー。
- ④ 未登
- ⑤ 未登

楽近エリア



① ディア・フィンガー 5.11b 20m ☆☆☆ (永淵 将哉)

#0.3 から始まる美しいフィンガークラック。エリアの看板ルート。

② 不朽の腐朽(ふきゅうのふきゅう) 5.10a 20m ☆☆ (永淵 将哉)

フィンガー〜フィストサイズ。ジャミングの練習に良いと人気。

③ ワイドハザード 5.10a 20m (森 海人)

やや土っぽい内容は面白い。途中の木がなければ更にクオリティが上がるのだが…

④ とおせんぼ 5.10b 15m ☆ (森 海人)

下部のフィンガーが少し悪い。上部は広めのサイズ。最後は木を使って OK。

⑤ カルマ 5.10d 20m (成田 啓)

下部は極小プロテクションを決めて、心の良いトレーニング。上部は快適。

⑥ 明日なき世代 5.11a 20m (中川 凌佑)

クラックが極端に細くなる核心部がユニークで面白い。

⑦ 木漏れ日クラック 5.8 20m ☆ (森 海人)

初心者の練習に最適。⑥を左に回り込んだところにある。



立琴エリア



① 蛭人形の館 5.10b 30m (森 海人)

下部がややかぶっており悪め。中間部より上は快適な ow。(現在はルート消失)

② ネオ悩んでるタール人 5.10b 25m (佐藤 裕介)

岩壁崩落後にリメイクされたルート。クオリティは以前より上がったか。チョックストーンなどでカムが決まるため、極端なランナウトにはならない。オリジナルは渡邊大三初登。

※①②は崩落によりルート消失、あるいは内容が大幅に変わっている。

③ 墓荒らし 5.10c 15m (成田 啓)

凹角のフィンガー。硬昆布や死者蘇生へのアプローチ。アップに良い。

④ 硬昆布 5.10a 20m ☆☆ (渡邊 大三)

テラスから洞窟のようなチムニーに入って登る。行けば秘密が分かる。

⑤ 死者蘇生 5.10b 15m ☆ (成田 啓)

テラスから右に見える壁際の ow。奮闘的。

⑥ 春琴抄 5.10c 30m ☆☆☆ (森 海人)

エリアを訪れたら是非登ってほしい一本。#0.3-6 まで必要。上部の登り方は人それぞれ。

⑦ アルフォンシーナと海 5.10a 30m ☆☆ (渡邊 大三)

下部に木が生えている威圧的なチムニー。7-8 番がないとランナウト。

⑧ 明鏡止水 5.11c PD 30m (佐藤 雄貴)

核心部は足元の小さなギアで悪いムーブをこなす。内容の詰まった一本。



⑨ 黒雷 5.11a 35m ☆☆☆ (永淵 将哉)

フィンガー〜シンハンドの美しいロングクラック。中間レストの後も油断できない。

⑩ 公開プロジェクト

⑪ シーラカンス 5.11c PD 30m (竹中 源弥)

⑩を左に回り込んだところにある一直線のクラック。多彩なムーブを繰り出しつつ消耗に耐える。
下部は奥開きしているので注意。

⑫ 天人峡入門 5.7 10m

木の生えたテラスに一段上がって、短いハンドクラックを登る。初心者向け。

⑬ 天人峡ワイド入門 5.8 10m

更に下流側のワイドクラック。終了点は⑫と共通。

⑭ 公開プロジェクト

⑫-⑬の終了点テラスから上部のシンクラック。

⑮ 緑の塔 5.9 25m (渡邊 大三)

タワー状のチムニー。3-4m 登ると横にクラックが出現し、カムを決めることができる。

立琴岩 1 峰



1 峰は立琴エリアから壁沿いに上流側に進むとすぐに見えてくる岩峰である。下部はクラックが閉じているが、上部は良質なクラックが何本か存在している。

① ドスコイ 5.8 10m (小林 真)

アップに最適。登り方は人それぞれ。②の 1p 目としても使える。

② Into the Wild 5.10a 3p 計 60m ☆☆ (森 海人、小林 真)

1p 5.9 20m : ①より左側にある洞窟の中からスタート。①の終了点テラスに合流して左上すると、ダブルクラックの凹角があるのでそれを登って木でビレー。1p 目は①を登っても良い。

2p 灌木帯 20m : 灌木を交えて右上しながら斜面をトラバース。エゾマツテラスまで。

3p 5.10a 20m : テラスからクライムダウンして右に見えるクラックに移る。ここからがハイライト。ワイド要素もあり、楽しませてくれる。頂上からの景色は格別なので是非一度は登ってほしい。

下降 : エゾマツテラスを経由して 2 回の懸垂で降りられる。ロープの流れに注意。

③ 蝦夷梅雨 5.10a 20m ☆ (中川 凌佑)

快適なハンドジャム主体の綺麗なクラック。オリジナルと合わせて登ると充実するので是非。

④ 公開プロジェクト

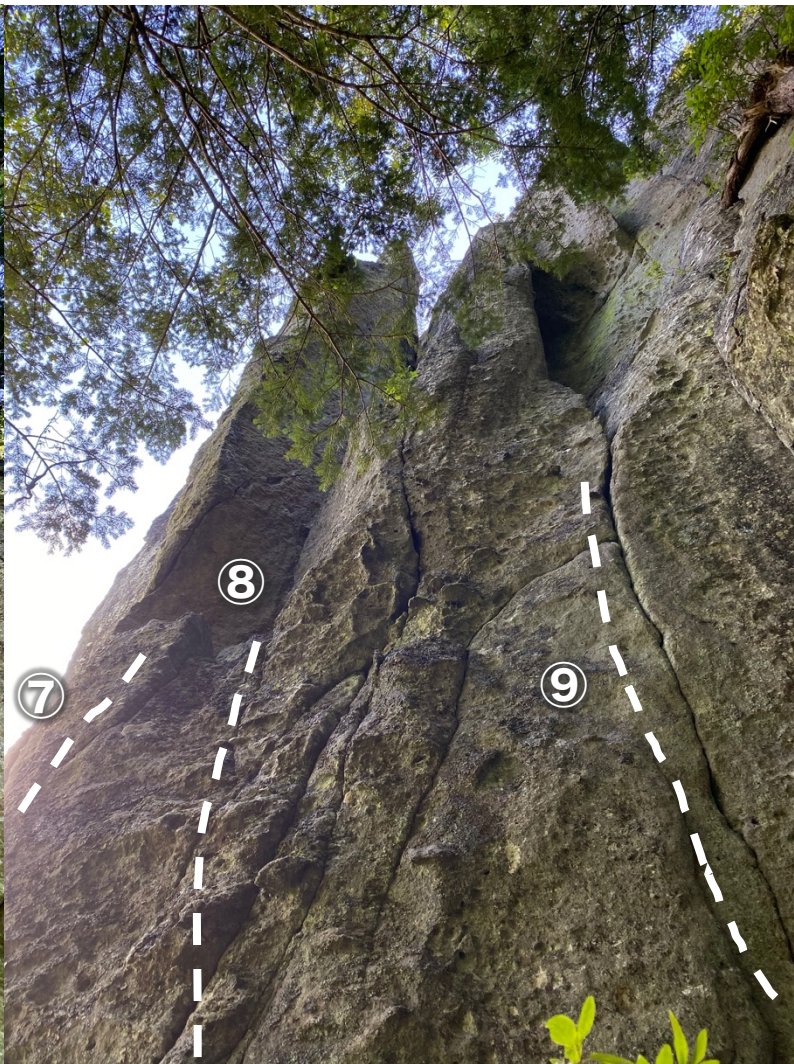
⑤ 成田プロジェクト

②の 3p 目に下部から繋げるライン。完成が待たれる。

立琴岩 1 峰上部



立琴岩 1 峰東面



1 峰東面には 1 峰正面を登って東側に懸垂するか、1 峰と 2 峰の間の FIX ロープ沿いに上がると取り付くことができる。

⑥ Life After Death 5.11a 25m ☆☆☆ (森 海人)

序盤はややかぶったハンドからシンハンド。中間の効きの悪いフィンガー部分が核心。頂上に突き上げる美しいライン。

⑦ 森プロジェクト

⑧ Ready to Die 5.10c 20m (森 海人)

下部はフェースの突起ホールドを使って登る。テラスに上がってからのスラブ状のボルダームーブが核心。スラブ部分は一切プロテクションが取れないので下で固め取りして突入する。上部は快適なハンドクラック。終了点は⑨と共通。

⑨ 狼煙 5.10b 20m ☆ (小林 真)

下部は小さめのプロテクションを使って慎重に。思い切ってハングを超える部分がハイライト。変化があって面白い一本。

立琴岩 2 峰



東面



南西面

3 峰へのアプローチの斜面を FIX ロープ沿いに上がるとまず出てくる岩塔。

東面

無名ルート 5.10c 2p 計 30m ☆ (成田 啓、渡邊 大三)

1p 5.10c 25m：綺麗なコーナークラック。中間のフィンガーが苦しい。テラスに上がり水平クラック沿いに左にトラバース。

2p 5.8 5m：快適なハンドクラックを少し上がると岩塔の上に立つ。

南西面

漂流教室 5.10c 2p 計 40m ☆ (森 海人、永渕 将哉)

1p 5.8 20m：よりかかった柱状節理の間を一段上がって、その後はチムニーを登る。フィンガークラックが始まるくらいでピッチを切る。

2p 5.10c 20m：フィンガークラックが途切れそうなところで左のクラックに移る。凹角沿いに登るとクラックは右上するので、そのままピークまで。変化があって面白い。

立琴岩 3 峰





3 峰は 30~40m スケールのロングルートが密集した岩峰であり、またそのルート内容も多彩である。アプローチはやや長いが、一日遊べるエリアなので是非足を伸ばしていただきたい。木陰に囲まれて風通しが良いので真夏でも意外と涼しい！？

① 奥さんお絵かきですよ！ 5.10b 20m ☆☆ (森 海人)

途中クラックが閉じ気味の部分が核心。#0.2-6 と幅広いサイズで面白い。大穴に終了点あり。

② ポッピングシャワー 5.10c 25m (森 海人)

①の中間のクラックがハンドサイズに変わってすぐの箇所、大きなカチとポケットを繋いでトラバース。上部は快適なワイドクラック。

③ Five Star 5.10a 2p 計 40m ☆ (森 海人、小林 真)

最上部の穴で一旦ピッチを切り、短いリッジクライミングで終了点へ。

50m ロープ 2 本で懸垂可能。

④ どさんこワイド 5.10b 40m ☆☆ (森 海人)

③のチョックストーン直下で左のクラックに移る。途中の木から上部は延々と続くワイドクラック。4-6 番は最低 2 個ずつあったほうが良い。

⑤ 風雲たけし城 5.10a 40m ☆☆ (渡部 祐輔、森 海人)

3 峰を訪れたらまず最初に登ってほしい一本。コーナーのハンドクラックから途中で左上して簡単なワイドクラックを登る。終了点はピナクルに設置。

⑥ アンビリーバボー 5.10d PD 40m (成田 啓)

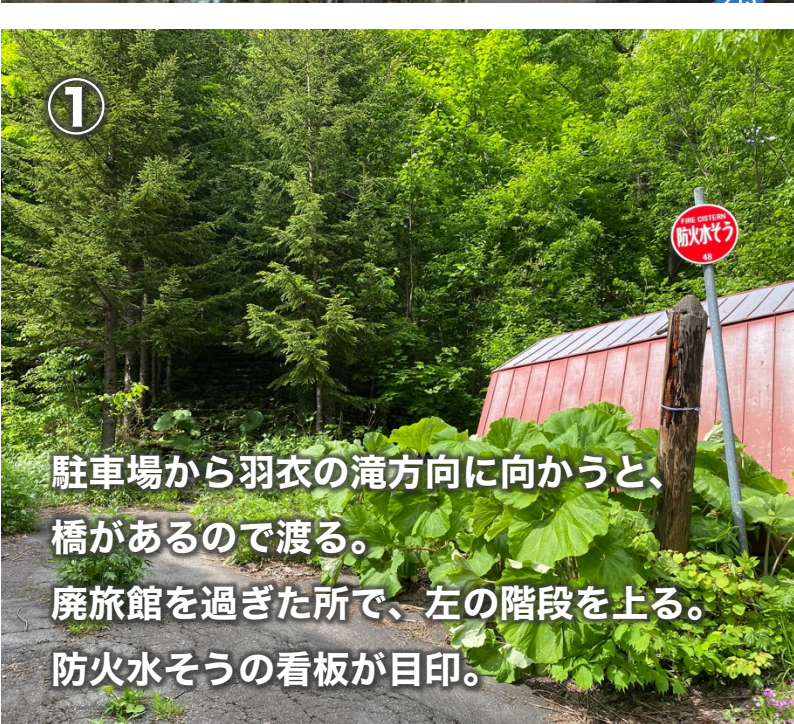
下部の薄かぶりのフレア気味コーナークラックとその上部スラブが核心。ボールナッツなど極小プロテクション無いとランナウト。最後はテラスに立ち、左に回り込んで⑤と合流する。

⑦ 東川ウルルン滞在記 5.10b 35m (竹中 源弥)

最初のフェースムーブに気を使うが、以降は側壁スタンスも拾いながらの快適ジャミング。

⑧ ミステリーハンター 5.10b 35m ☆☆ (小林 真)

ややかぶり気味の下部とフィンガーからハング超えと変化があって楽しい。ハングを越えた所でピッチを切り、2p 目は右側のクラックを直上するのがオリジナルライン。



③

右手にコンクリートの建物があり、
そのまま道なりに進む。

④

旅館の裏手を通り過ぎると、登山道は
右に曲がる。

⑤

登山道が右に曲がってすぐのところで、
左手の木にテープで目印がある。登山道
から外れて左手の踏み跡を上る。

⑥

少し上ると、左手に太い枯れ木が見える。
その横を通り、沢地形に向かって進む。

⑦

沢地形には金網ネットが設置されており
少々歩きにくい、FIX ロープを設置
している。セルフを取って進むと安心。

⑧

金網沢地形を過ぎるとアマツ岩が見えて
くる。

アマツ岩





① 端子(はじっこ) 5.10d 25m (中川 凌佑)

峽子の下部を登ってテラスに移りそこからがオリジナルライン。ジャミング、フェース、チムニーと内容は面白い。

② 峽子 5.11d 25m ☆☆☆ (成田 啓)

中間から上部にかけてのオフセットフィンガーはフィジカルが試される。成田渾身の一本。

③ ハゴロモン 5.10c 25m ☆☆☆ (渡邊 大三)

天人峽で最初に登られた記念すべきルート。ルーズなフィストからハング超え、徐々に狭くなり最後はフィンガーと変化に富んでおり、その内容も素晴らしい。

④ クロマニヨン人 5.10a 20m ☆ (渡邊 大三)

とても綺麗なワイドクラック。#7-8 ないとランナウトするので注意。

⑤ Endless Rain 5.10b 30m ☆ (成田 啓)

このエリアで最も登りやすいコーナークラック。色々なサイズが出てきて楽しめる。

天の川からのトラバースラインもムーブ的には面白い。(佐藤裕介初登)

⑥ 夏子 5.10c 35m (佐藤 裕介)

天の川を 5m ほど登り、右にトラバース、ハング下のクラック沿いに登る。右のカンテにあるガバを使いながら豪快に登る。最後は天の川に合流する。名前の由来は初登時全てのプロテクションをナッツ系で取ったことによる。

⑦ 天の川 5.10d 35m ☆☆ (成田 啓)

フィンガー〜ハンド主体のロングクラック。#0.3-4×2 で登れるが、ギア不足にならないよう注意。レスト技術やクラックとフェースの頭の切り替え、メンタルなど総合力を試される好ルート。

⑧ 深海 5.10d 35m ☆☆ (竹中 源弥)

序盤、中盤、終盤と内容に変化があって楽しい。最初の 4m はプロテクション取りづらく、メンタルも

試される。最悪右側の斜面にジャンプすれば怪我はしないだろう。

⑨ アマツルーフ 5.10a 3p 50m (渡邊 大三、森 海人)

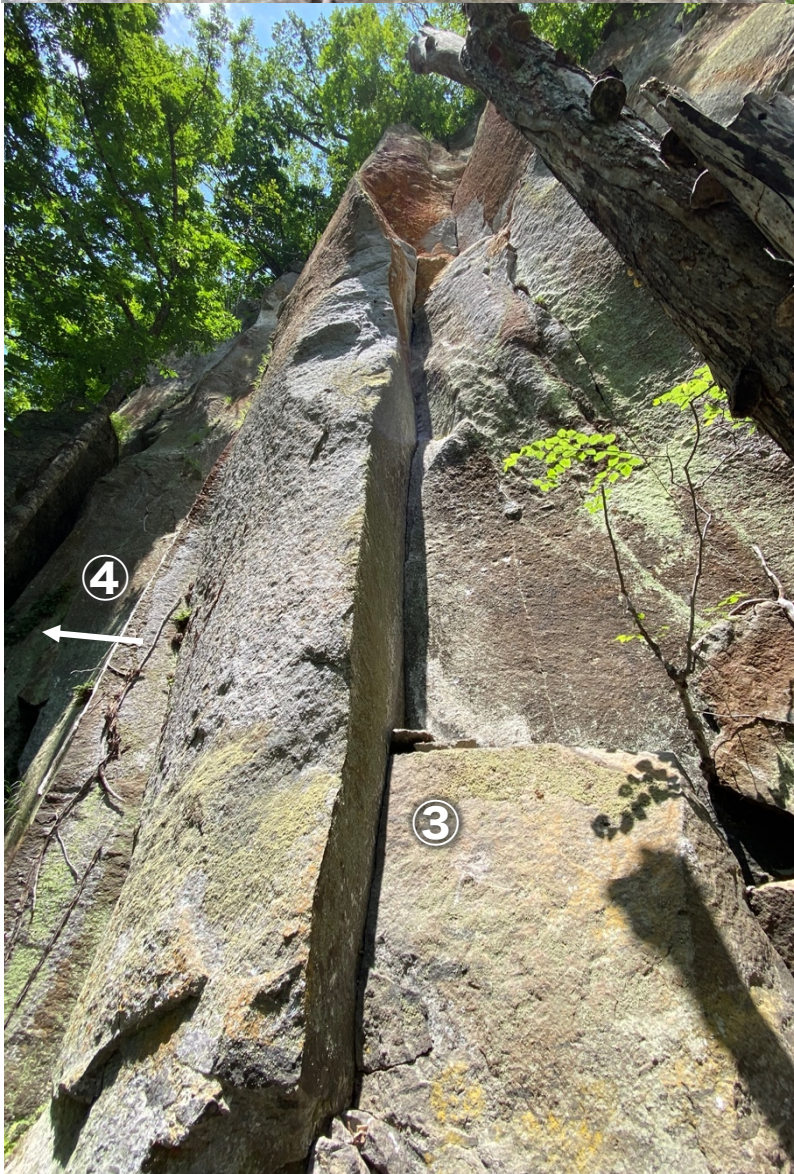
中盤までは木の生えた凹角をアルパインチックに登る。木を乗り越えていく作業が二の腕の筋トレになる。最後のルーフは意外に快適。掃除が進んだら人気が出るだろう。

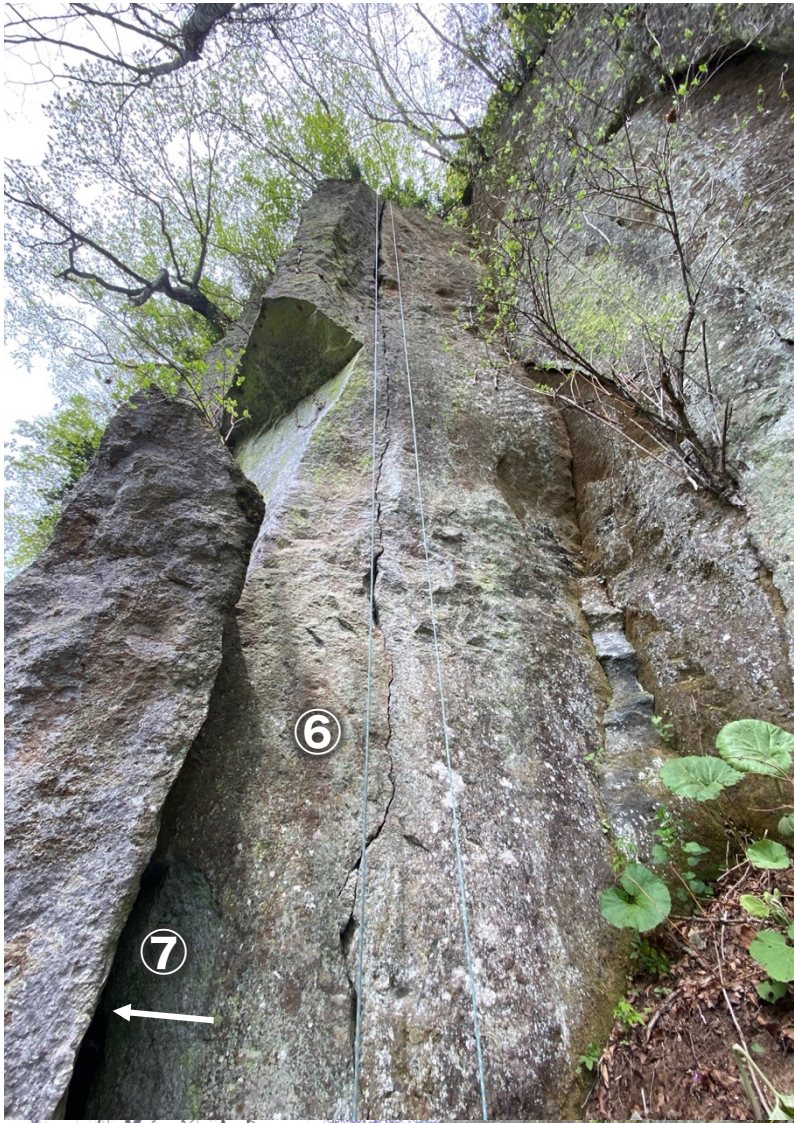
⑩ 公開プロジェクト

⑪ 渡邊プロジェクト

※アマツ岩のアプローチに関しては旅館がなくなり、様相が変わっていますが、アプローチ写真の⑤あたりからは以前と変わりありません。迷ったらまずは登山道を見つけましょう。









ダム下エリアはその名の通りダムの下流にあるエリアで、吊り橋のある駐車場から対岸に見える岩壁である。岩質は上流のエリアに比べて柔らかく注意が必要だが、美しい未登のクラックが何本か存在している。またアプローチがかなり近いのも魅力だ。エリアに行く際には極力吊り橋は使わず、川を渡渉するようお願いしたい。(吊り橋は不法侵入で怒られる可能性あり)

川を渡るとまず初めに赤陽光が見えてくる。その 50m ほど下流にコンセンサスを含む何本かのルートがまとまって存在している。更に 15 分ほど下流に歩くと岩壁の末端に辿り着く。そこが末端壁だ。

① 太陽拳 5.11b 25m ☆☆ (斉藤 マルボー)

核心ムーブが面白いと太鼓判。

② 赤陽光(せきようこう) 5.11a 20m ☆☆☆ (永渕 将哉)

フェースに走る美しいシンクラック。ルーフ下で右にトラバースして終了点へ。ルーフ下の浮石には注意。天人峡を代表する一本なのは間違いない。

③ Fire Cracker 5.11c 25m ☆☆☆ (森 海人)

シンクラックの走る凹角を際どいムーブで抜けた後も変化が続く好ルート。

④ ノートルダム 5.10a 16m (濱田 裕章)

左右のクラックを上手く使って登る。

⑤ LIVE DAM 5.10a 15m (森 海人)

上部が一癖あるが、落ち着いて登れば大丈夫。

⑥ コンセンサス 5.11c 18m ☆☆☆ (濱田 裕章)

下部のフィンガーがパワフルかつテクニカル。左の岩は終始使わない。

⑦ のこのこクラック 5.10a 20m ☆☆ (森 海人)

のこぎり状の快適なクラック。向かって左面を登る。アップにどうぞ。

末端壁

⑧ すずきクラック 5.9 18m (鈴木 陽祐)

ハンドサイズの練習に最適。

⑨ エトウ 5.10b 34m (渡邊 大三)

アルパインチックな下部からスタート。上部は5番サイズ。

⑩ 渡邊プロジェクト



渡渉は少し水深が深く、増水時期や水が濁っている時は無理をしない方が良い。
事故のないよう、自己責任で渡ろう。



①

②

③

④

① 鬼の肘肩 5.10b 28m ☆☆ (森 海人)

シンハンド帯からフレーク状のワイドを登るとテラスとなり、そこからは#6の凹角が続く。
#7が一つあるとより安心するかも。

② 心の旅 5.10c 28m ☆☆☆ (森 海人)

2本目の木を乗り越えた先は#7-8サイズのスクイズチムニーが延々と続く。心を無にして突き進む。

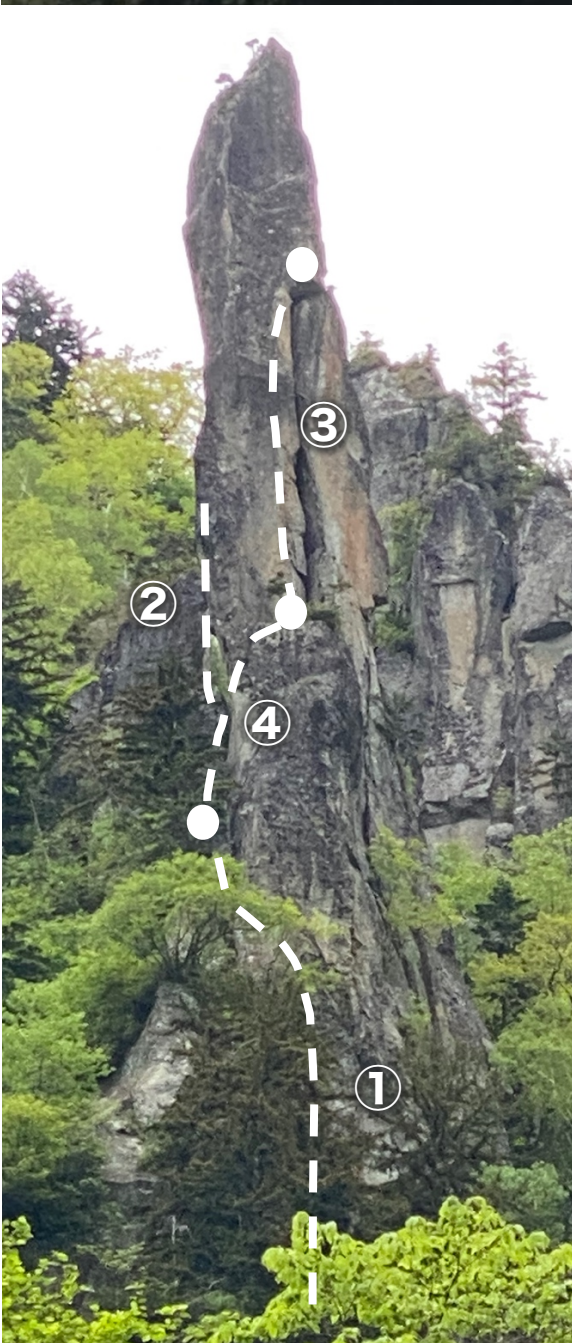
③ 燃えよ命 5.11b 30m ☆☆☆ (森 海人)

①の下部に登り太い木を超えたところで大きいガバポッケが出てくるので、そこで右のクラックに
乗る。シンハンド～フィンガーが綺麗に続いており、パワーと持久力が必要。このエリアの
アップルート。

④ 森プロジェクト



マーラータワー



マーラー大チムニー

マーラータワーは敷島の滝の奥に聳える岩塔である。アプローチは少々長くシビアな渡渉もあるが、ルートの質は高く、秘境での極上なクライミングが堪能できる。

未だ全貌が把握できておらず頂上にも立ててはいないが、現状判明しているラインをピッチごとに解説したい。

① マーラーーフ 推定 5.11-

取り付けから上に見える 5m ほどのコーナールーフ。下部 10m の凹角を登り、#4-5 のワイドルーフを右にトラバース。ルーフを抜けて少し上がった木で終了。1p 目からかなりの攻撃的なライン。フリーでは未登。

② 薄かぶりワイドクラック 推定 5.10+

①の終了点から凹角状を少し上がり、快適なテラスに着く。ここからハンドクラックが始まり、更に #6 サイズにクラックは広がる。吐き出されるような形状のワイドクラックでなかなか手強い。これもフリーでは未登。

③ マーラー大チムニー 5.9

②を登ると大テラスがあり、そこから下から見ても目立つ大チムニーが始まる。チムニー内部でも所々プロテクションが取れるため、それほど怖さはない。裏側に抜けてクラックに誘われるように登ると灌木の生えた小テラスに着く。これより先は切り立ったプロテクションの取れないフェースになっており、灌木を支点に懸垂下降している。唯一フリーで完登しているピッチ。圧倒的チムニー。

④ どっかぶりワイド

③を下降中に発見したワイドクラック。未登。



天人峡ミシュランガイド

☆		
木漏れ日クラック	5.8	楽近エリア
とおせんぼ	5.10b	楽近エリア
死者蘇生	5.10b	立琴エリア
蝦夷梅雨	5.10a	立琴岩 1 峰
狼煙	5.10b	立琴岩 1 峰
無名ルート	5.10c	立琴岩 2 峰
漂流教室	5.10c	立琴岩 2 峰
Five Star	5.10a	立琴岩 3 峰
クロマニヨン人	5.10a	アマツ岩
Endless Rain	5.10b	アマツ岩
☆☆		
不朽の腐朽	5.10a	楽近エリア
硬昆布	5.10a	立琴エリア
アルフォンシーナと海	5.10a	立琴エリア
Into the Wild	5.10a	立琴岩 1 峰
奥さんお絵かきですよ！	5.10b	立琴岩 3 峰
どさんこワイド	5.10b	立琴岩 3 峰
風雲たけし城	5.10a	立琴岩 3 峰
ミステリーハンター	5.10b	立琴岩 3 峰
天の川	5.10d	アマツ岩
深海	5.10d	アマツ岩
太陽拳	5.11b	ダム下エリア
のこのこクラック	5.10a	ダム下エリア
鬼の肘肩	5.10b	幻エリア

☆☆☆		
ディア・フィンガー	5.11b	楽近エリア
春琴抄	5.10c	立琴エリア
黒雷	5.11a	立琴エリア
Life After Death	5.11a	立琴岩 1 峰
峽子	5.11d	アマツ岩
ハゴロモン	5.10c	アマツ岩
赤陽光	5.11a	ダム下エリア
Fire Cracker	5.11c	ダム下エリア
コンセンサス	5.11c	ダム下エリア
燃えよ命	5.11b	幻エリア
心の旅	5.10c	幻エリア

